2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名　　アディッシュ株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　7093　　URL https://www.adish.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役　　（氏名）江戸　浩樹
問合せ先責任者　（役職名）取締役執行役員財務企画本部長（氏名）久保　芳和　　TEL 03-6869-3777

配当支払開始予定日　　ー
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有（決算説明の動画配信を予定しております。）

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	2,798	2.7	7	ー	32	ー	33	ー
2025年12月期第３四半期	2,724	1.5	△21	ー	△11	ー	△24	ー

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　33百万円（ー%）　2025年12月期第３四半期　△24百万円（ー%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	15.61	15.44
2025年12月期第３四半期	△13.14	ー

（注）2025年12月期第３四半期の潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの１株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	1,332	597	44.8
2025年12月期	1,315	542	40.8

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　597百万円　2025年12月期　536百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00
2026年12月期	ー	0.00	ー		
2026年12月期（予想）				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,100	10.9	70	ー	70	279.0	60	ー	28.53

（注）１．直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
２．営業利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の対前期増減率は、1,000%以上のため記載を省略しております。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
②　①以外の会計方針の変更	：無
③　会計上の見積りの変更	：無
④　修正再表示	：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	2,164,170株	2025年12月期	2,142,470株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	11,470株	2025年12月期	38,310株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	2,132,011株	2025年12月期３Ｑ	1,883,107株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ．２「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 4
四半期連結損益計算書 …… 4
四半期連結包括利益計算書 …… 5
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 6
(セグメント情報等の注記) …… 6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) …… 6
(継続企業の前提に関する注記) …… 6
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) …… 6

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な設備投資や賃上げの進展による雇用・所得環境の改善が継続しているものの、全体としては足踏み状態が続いております。長引く地政学リスクや為替市場の変動に伴うエネルギー価格の高騰に加え、歴史的な円安水準の定着等を背景に、食料品をはじめとする幅広い品目で物価上昇が加速しております。さらに、金利上昇に伴う家計や企業負担増への懸念も生じており、これらが家計の購買力を抑制し、個人消費の本格的な回復を妨げる要因となっております。

このような経済環境のもと、当社グループが注力しているカスタマーサクセス（注１）の主要顧客が属するSaaS業界は、大きな転換期を迎えています。電子帳簿保存法やインボイス制度の定着によるバックオフィス業務のデジタル化が一巡する一方で、生成AI（ジェネレーティブAI）の本格的な社会実装により、SaaSは単なる「効率化ツール」から「自律的な業務遂行基盤」へと進化を遂げています。

国内のSaaS（注２）市場規模は、2023年の1.4兆円からさらに拡大し、2026年には2兆円の大台に迫る見通しであるなど、引き続き堅調な成長を維持しております。足元では、労働力不足を背景としたDX需要に加え、生成AIの組込みによる業務自動化の高度化や、プロダクト価値の再定義が新たな成長エンジンとなっており、市場規模の拡大とともに、カスタマーサクセスを通じたチャーンレート（解約率）の低減や、LTV（顧客生涯価値）の最大化といった、質の高いサービスと収益性の追求がより強く求められる状況となっております。

そのような環境のなか、2026年４月27日付「株式会社ハンモックとの資本業務提携に関するお知らせ」、2026年９月29日付「株式会社FCEとの資本業務提携に関するお知らせ」のとおり、両社との強力な関係構築により、今後の事業展開を一層拡大してまいる所存であります。

当第３四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高2,798,584千円（前年同四半期比2.7%増）、営業利益7,979千円（前年同四半期は営業損失21,649千円）、経常利益32,937千円（前年同四半期は経常損失11,024千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益33,274千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失24,742千円）となりました。

なお、当社グループはカスタマーリレーション事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

（注）１．「カスタマーサクセス」とは、顧客（カスタマー）が成功（サクセス）できるよう顧客に寄添い、顧客の成功とはなにかを深め続ける取組みのことであります。

（注）２．「SaaS」とは、「Software as a Service」の略称で、インターネット上でソフトウェアをクラウドサービスとして利用する仕組みを意味します。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における流動資産は1,137,710千円となり、前連結会計年度末に比べ4,047千円減少いたしました。これは主に現金及び預金81,996千円の増加、受取手形、売掛金及び契約資産84,841千円の減少によるものです。固定資産は195,053千円となり、前連結会計年度末に比べ21,657千円増加いたしました。これは主に差入保証金23,558千円の増加によるものです。

この結果、総資産は1,332,764千円となり、前連結会計年度末に比べ17,609千円増加いたしました。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における流動負債は560,745千円となり、前連結会計年度末に比べ137,487千円減少いたしました。これは主に買掛金29,167千円、短期借入金100,100千円の減少によるものです。固定負債は175,009千円となり、前連結会計年度末に比べ100,921千円増加いたしました。これは長期借入金100,921千円の増加によるものです。

この結果、負債合計は735,754千円となり、前連結会計年度末に比べ36,566千円減少いたしました。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は597,010千円となり、前連結会計年度末に比べ54,176千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益33,274千円の計上によるものであります。

この結果、自己資本比率は44.8%（前連結会計年度末は40.8%）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の連結業績予想につきましては、2026年２月13日の「2025年12月期　決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更ありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	545,918	627,914
受取手形、売掛金及び契約資産	520,494	435,652
貯蔵品	685	810
その他	74,735	73,410
貸倒引当金	△75	△77
流動資産合計	1,141,758	1,137,710
固定資産		
有形固定資産	73,936	70,304
無形固定資産	2,597	1,998
投資その他の資産		
差入保証金	67,553	91,112
その他	31,150	34,323
貸倒引当金	△1,841	△2,685
投資その他の資産合計	96,863	122,751
固定資産合計	173,396	195,053
資産合計	1,315,154	1,332,764
負債の部		
流動負債		
買掛金	62,043	32,875
短期借入金	137,500	37,400
１年内返済予定の長期借入金	75,980	106,340
未払費用	243,283	227,110
未払法人税等	9,368	1,736
その他	170,057	155,281
流動負債合計	698,232	560,745
固定負債		
長期借入金	74,088	175,009
固定負債合計	74,088	175,009
負債合計	772,320	735,754
純資産の部		
株主資本		
資本金	99,316	36,086
資本剰余金	390,745	400,876
利益剰余金	113,750	168,819
自己株式	△71,763	△13,709
株主資本合計	532,049	592,073
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	4,864	4,936
その他の包括利益累計額合計	4,864	4,936
新株予約権	5,919	―
純資産合計	542,833	597,010
負債純資産合計	1,315,154	1,332,764

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	2,724,168	2,798,584
売上原価	1,999,023	2,057,883
売上総利益	725,145	740,700
販売費及び一般管理費	746,795	732,721
営業利益又は営業損失（△）	△21,649	7,979
営業外収益		
受取利息	599	1,224
受取補償金	－	27,262
助成金収入	16,101	1,200
その他	1,683	1,426
営業外収益合計	18,383	31,113
営業外費用		
支払利息	3,371	3,578
為替差損	461	1,601
支払補償費	934	846
和解金	2,500	－
その他	489	129
営業外費用合計	7,757	6,155
経常利益又は経常損失（△）	△11,024	32,937
特別利益		
新株予約権戻入益	－	5,854
特別利益合計	－	5,854
特別損失		
固定資産除却損	－	1,349
特別損失合計	－	1,349
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△11,024	37,442
法人税、住民税及び事業税	14,014	4,935
法人税等調整額	△296	△767
法人税等合計	13,717	4,168
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△24,742	33,274
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△24,742	33,274

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△24,742	33,274
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	143	71
その他の包括利益合計	143	71
四半期包括利益	△24,598	33,346
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△24,598	33,346

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

当社グループは、カスタマーリレーション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

当社グループは、カスタマーリレーション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

(1) 新株予約権の行使

新株予約権の行使に伴う新株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ6,086千円増加しております。

(2) 資本金の減少及び欠損填補

2026年３月31日開催の第12期定時株主総会の決議に基づき、2026年５月２日付で減資の効力が発生し、資本金の額69,316千円を減少し、その他資本剰余金へ振替えております。また、その他資本剰余金22,194千円を繰越利益剰余金に振替えることで、欠損填補に充当しております。

(3) 自己株式の処分

2026年４月15日開催の取締役会決議に基づき、株式報酬として自己株式26,880株の処分を行ったことにより、自己株式が58,076千円減少し、当第３四半期連結会計期間末において自己株式が13,709千円となっております。

上記の結果、当第３四半期連結会計期間末において、資本金が36,086千円、資本剰余金が400,876千円、利益剰余金が168,819千円となっております。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	12,998千円	12,554千円